

# 5. 救急外来を受診した自傷・自殺企図関連症例の実態把握と予後調査

## 研究の概要

本研究は、2009年1月から2014年3月までに当院の救急外来を自傷行為、自殺企図で受診した患者さんを対象に、受診時の状況や症状、検査結果とその後の再自傷の有無を検証します。

\*この研究は、2016年3月31日の時点で、共同研究事務局へのデータの送付が完了いたしました。

以後、当院からデータの登録を行うことはありません。ご協力ありがとうございました。

## 研究の目的

自傷、自殺企図の既往は将来の自殺のリスクであることが知られており、自傷が起こった際に適切な評価と対応をすることがとても大切なことです。今回私たちは、自傷行為、自殺企図で受診した患者さんのデータを調査して、将来の再自傷、自殺の危険兆候は何かを検証します。

## 本研究への参加について

本事業への参加は、患者さんの自由な意思に基づくものであり、参加されたくない場合は、データ登録を拒否して頂くことができます。その場合は、病院の担当医または下記問合せ先にご連絡ください。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

## 調査する内容

患者さんの年齢や受診状況、問診の内容、症状、既往歴、検査データ、治療内容と、退院後の自傷行為の有無を調査します。患者さんの氏名・住所・生年月日など個人を特定する情報は調査しません。データは過去のカルテから調べるだけですので、新たな情報の聴取や採取はありません。

## 対象となる患者さんの利益・不利益

この研究は、患者さんのデータをカルテなどから調べるだけですので、対象となる患者さんに利益及び不利益はありません。データの解析は慶應義塾大学医学部精神・神経科と東京都医学総合研究所の医師も行いますが、先にも述べたように、個人情報には調査しないので、個人情報漏洩の心配はありません。

## 研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。個人情報には調査しないので、個人が特定されることはありません。

## 当院の研究責任者

精神科 渡邊健次郎

## 問い合わせ先

精神科 渡邊健次郎

TEL: 096-353-6501

## 共同研究者

慶應義塾大学医学部精神・神経科 藤澤大介

## 共同研究事務局

慶應義塾大学医学部精神・神経科 川原庸子